

9月12、13の両日に一関市狐禅寺の一関遊水地記念緑地公園で開かれる「リレー・フォー・ライフ(RFL)・ジャパン2015いわて」の支援自販機が26日、同市大手町の一関病院正面玄関前にお目見えした。実行委員会の要望を受け、みちのくコカ・コーラボトリング(本社矢巾町)が設置。売上金の一部は、RFLの運営などに活用される。

RFLは、がん患者(サバイバー)と支援者(ケアギバー)による世界的なチャリティイベント。一関地方では、2012年から毎年開かれている。

支援自販機は、同社がRFL関係者の要望を受けて設置しており、今年1月に青森県の病院に第1号が置かれた。本県での設置は一関病院が初めて。

ラッピングデザインは、実行委が担当。紫色を基調とし、RFLのロゴマークや本県の国体マスコットキャラクター・わんこきょうだいの「おもっち」があしらわれている。

同日は同社の三浦高裕市場開発部長らが同病院を訪れ、実行委や病院関係者にあいさつ。三浦部長は「地域の人にRFLを認知してもらえよう、これからも地元企業として

# 1本買ってRFL支援

みちのくコカ・コーラ 一関病院にラッピング自販機



支援していきたい」と語った。

佐藤隆次院長は「自販機をきっかけに、RFLが地域に広がってくれることを願う」と感謝。皆川和子実行委員は「RFLのため

今回のRFLは、来月12日正午にスタート。40団体ほどが参加予定で、横断幕などを手に1周約200メートルをトラックをリレー方式で24時間歩く。

一関病院に設置されたRFLの支援自販機の前で握手する(右から)三浦部長、皆川実行委員長、佐藤院長